

## 「モンゴル初・中等教育用アクティビティ集」

ウランバートル市教育局・日本語教育  
木戸 久見子・高嶋 幸太・横溝 清子

私ども JICA ボランティアはウランバートル市教育局に所属し、主な活動の一つとして、日本語教育を実施している初等・中等教育機関の教師を対象に、月 2 回の勉強会を開催しています。この勉強会を通して、今年（2011 年 9 月）、「モンゴル初・中等教育用アクティビティ集」を発刊いたしました。

発刊の経緯は、教育局の前任者が、市内の学校で日本語学習をしている児童・生徒たちのために、実際に体を動かしたり、ゲームをしたりする中で、楽しく日本語が学べ、かつ、その運用能力が高まるようにとの思いから、アクティビティ集の発行に着手しました。しかし、残念ながら彼らの任期満了までにこれを完成させることができなかつたため、その意志を継いで、発刊に漕ぎつけた次第です。

この発刊に際して、JICA の日本語教師ボランティアと在モンゴル日本人の日本語教師が執筆委員として携わりました。

また、日本人教師のほかに、多くのモンゴル人日本語教師のご協力をいただきました。具体的には毎回の勉強会のアクティビティのコーナーで、本書に載せるものを 2 つずつ実際に行い、それを踏まえてアクティビティの仕方等をモンゴル語に訳してもらいました。

このように多くの先生方のご協力を得て、このたび発刊の運びとなった次第です。

表表紙と裏表紙にはモンゴルの児童・生徒が描いた絵を採用しました。また、本書には以下の 5 つのマークを挿入して、アクティビティの内容が分かり易いようにしました。



- : アクティビティで使う文型・表現
- : アクティビティを行うのに必要な人数・対象年齢
- : アクティビティを行うのに必要な時間の目安
- : アクティビティのやり方、手順
- : アクティビティをするために必要なもの、準備すること

み・2	: みんなの日本語 2 課
で・2・2~7	: できるよ 2 2 課~7 課
ま・3・3~6	: 日本語を学ぼう 3 3 課~6 課
ひ・6~11	: ひろこさんのたのしいにほんご 6 課~11 課

今日の分科会で、このアクティビティ集に載せている 34 項目の活動のうちの 3 つをご紹介します。

1. アクティビティ 12 : 「ある／いる」立ち・座りゲーム (p.17)  
体を動かしながら「ある・いる」を楽しく学ぶゲーム
2. アクティビティ 17 : 「トントンゲーム」 (p.24)  
動詞の変形をリズムに合わせて、楽しく練習し、定着を図るゲーム
3. アクティビティ 13 : 「数詞ニョッキ」 (p.18)  
助数詞をゲームで楽しく覚える



最後に、このアクティビティ集が、日々の指導の中で活用されますことを願っています。  
また、ご質問などがございましたら、いつでも対応いたします。  
ありがとうございました。



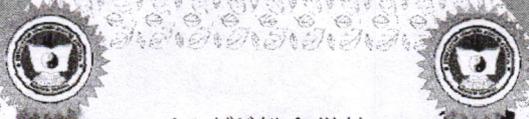
メルゲド総合学校  
日本語教育

メルゲド総合学校



メルゲド総合学校は1998年に  
ウブルハンガイ県と日本の岡山  
県勝央町の 資金援助で建設さ  
れた。

メルゲド総合学校



メルゲド総合学校

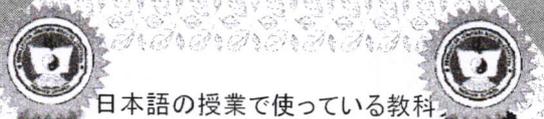
先生の人数: 37人  
モンゴル人の日本語の先生: 2人  
学習者の人数: 741人  
日本語を勉強している生徒: 650人

メルゲド総合学校



小学校2年生から高  
校卒業するまで日本  
語を勉強します。

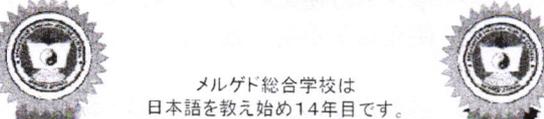
メルゲド総合学校



日本語の授業で使っている教科  
書【材料】

小学校: 楽しい日本語1「二年生」  
楽しい日本語2「三年生」  
楽しい日本語3「四年生」  
楽しい日本語4「五年生」  
中学校: できるよ2「七年生」  
できるよ3「八年生」  
高校: できるよ4「九年生」  
みんなの日本語1「十年生」  
みんなの日本語2「十一年生」

メルゲド総合学校



メルゲド総合学校は  
日本語を教え始め14年目です。  
この間、日本に訪問した生徒は41人です。

2001年—25人「勝央町」  
2006年—2人「大阪」  
2007年—1人「林プログラム」  
2010年—2人「大阪」  
2011年—1人「日本語オリンピック」

**JENESYS** フログラム  
2007年—2人「**JENESYS**」  
2008年—3人「**JENESYS**」  
2009年—4人「**JENESYS**」  
2010年—2人「**JENESYS**」

メルゲド総合学校